

「HIMSとは」

ALPA Japan

議長・B777機長

松本 英晃



HIMS OVERVIEW

- HIMS: Human Intervention Motivation Study
(直訳：人道的介入の動機付け研究)
 - 1970年代に連邦政府アルコールカウンセリング機関 (NIAAA) とALPA (組合) によってパイロットのアルコール関連の問題を取り組むためにアメリカで発足した研究プログラム
 - 組合が主体的にパイロット自身の生命や、キャリアを救うために、アルコールや薬物といった「物質依存症」の疾患の治療を行い、乗務復帰までを効果的にサポートをすることを目的としています。



FACTS

➤ アメリカでの実績

- ALPA Intl.(U.S.ALPA)主導のHIMSは設立以来、6800名のパイロットへのサポートを行ってきた（年間約120名）
- 43社の航空会社の乗員が加盟している
- ユナイテッド、デルタ、フェデックスでは単組独自のサポート窓口も設立している
- 依存症者に対する治療を受けた後の復職率は89%に及び、再発率は14.6%（一般は60%）

➤ HIMSプログラム採用国

- カナダ、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランド、香港、シンガポール、EU



HIMS OPERATION

- ALPA Intl.でのHIMSの運営
 - 組合組織にて担当委員会を設立
 - ✓ 組合員、身体検査医、当局、企業で構成される
 - 年2回のセミナーを開催し、HIMS担当者の養成と定期教育を行なっている→次回は9月にデンバーにて開催
- HIMS設立の重要性
 - 信頼できる仲間（組合等）に相談できる窓口をつくる
 - 職場の仲間でアルコール問題・悩みを抱えている人を助けるためのピアサポート体制



HIMS STRUCTURE

- サポート体制の構築
 - 専門の教育を受けたパイロット（ピアサポート）により仲間をサポートを行う
 - ピアサポートの育成はアルコールカウンセリング機関、医療機関等によって行われる
 - メンタルサポートを含めた医学的サポート並びにライセンスに関わる当局からのサポートが必要となる
- アルコール・薬物依存症者に対する実際の回復治療はHIMSでは行わない → 専門機関を紹介する



PEER SUPPORT

- ▶ ピアサポートシステムが重要なキーファクター
 - ▶ そもそも依存症の人は自分で認識していない、認識していても助けを求める人は非常に少ない
 - ▶ 職場の仲間、家族による介入・サポートがこのシステムの根源（Employment Assistance Program）
 - ▶ コックピット内、ステイ先、自宅にてアルコール問題を抱えている人を仲間同士で認識する
 - ▶ 過去よりピアサポートによるストレスケアを行ってきた実績がある（CISM等）



NOTIFYING HIMS

- いつHIMSにコンタクトをするのか？
 - アルコール検査で値超過者
 - アルコール事由での欠勤者
 - 運宿先・自宅でのアルコール摂取量が適度でない者
 - 職場仲間・家族にアルコール飲料の摂取量・頻度が過剰だと言われたとき
 - 自発的に
 - 飲酒運転等のアルコール事由の違法行為



NOTIFYING HIMS

➤ HIMSの対応

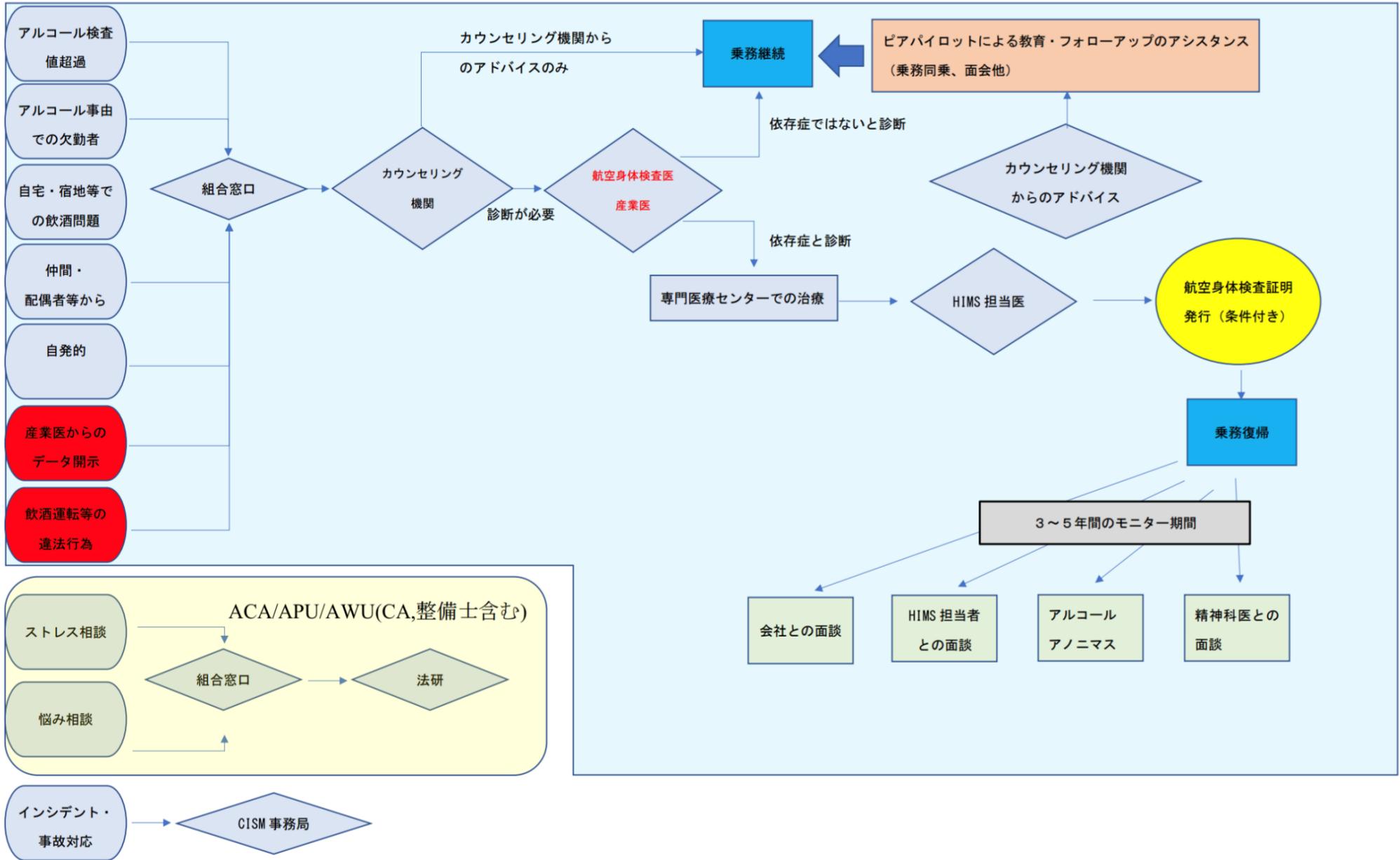
- まず現状についてHIMS担当乗員がインタビューを行った後に、専門機関によるサポートへと移行していく
- 専門サポートの目的は治療ではなく、専門担当者による評価 ⇨ 治療専門機関の紹介は可能
- 依存症と診断されると身体検査は通らないが、治療による断酒・節酒により復帰は可能←HIMS専門航空身体検査医による診断

➤ 啓蒙活動

- アルコール依存症患者は病人であり、悪人ではない
- 資料の配布、**実体験を元にしたセミナー**の開催等を組合内、そして**その家族**に対し行う

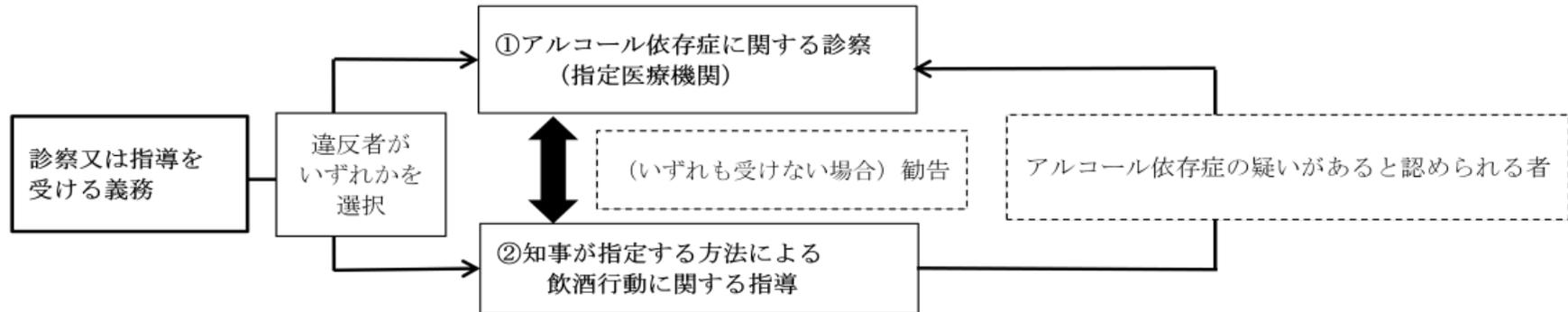


日本版 HIMS 及びストレスケア体制イメージ図 (REV2)



福岡県の飲酒運転者への対応

(1回目の違反者)



(2回目の違反者)

